

Flood Hazard Map 津幡町洪水ハザードマップ【南部】

津幡川・河北瀧・大野川・宇ノ気川・森下川
材木川・能瀬川・気屋川・加茂田川

もしもの水害から大切な命を守るために

津幡町 令和5年12月

防災メモ

わが家の防災メモ
日頃から家族みんなで確認しましょう。

わが家の避難場所
家族が離れ離れになった時の集合場所

わが家の緊急連絡先

防災関係機関の連絡先
災害時に関係する機関の連絡先を確認しましょう。

種類	名称	電話番号	種類	名称	電話番号
役場	津幡町役場	288-2120	県の機関	石川県津幡土木事務所	289-4161
	津幡警察署	289-0110		石川県危機対策課	225-1482
	能瀬駐在所	288-2174		石川県土木部河川課	225-1736
警察	津幡南交番	288-7010	救急指定病院	石川中央保健福祉センター(河北地域センター)	289-2177
	便利加藤駐在所	288-1150		公立河北中央病院	289-2117
	津幡町消防本部	288-3000			

身を守るための事前の準備

◆ハザードマップのチェックポイント

- ① 自宅や職場の場所をチェックしましょう。
色が塗られていれば浸水の危険があるため避難が必要です。
色が塗られていない場所でも必ず安全だとは限りません。特に堤防や橋より低い場所は浸水の危険があると考えて注意してください。
- ② 浸水の深さをチェックしましょう。
過去の水害では自宅で亡くなった人も多くいました。浸水すると部屋の中の移動や階段を上がることも困難です。特に高齢者は早めに避難しましょう。
- ③ 家屋倒壊等氾濫想定区域は要注意です。
家屋が流失・倒壊する恐れがある区域です。この区域の住民の方は、自宅にとどまらずに必ず安全な場所に避難しましょう。
- ④ 避難経路をチェックしましょう。
避難場所だけでなく避難経路も確認する必要があります。避難場所までの経路に浸水や土砂災害、橋や横断地下道などの危険がないか確認して、危険な場所は通らないようにしましょう。

4つの避難行動

「避難」とは、災害などの「難」をうまく「避」けることです。指定避難所に行くことだけが避難ではありません。「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、あなた自身の避難行動を考えておきましょう。

- 指定避難所への立退き避難
自ら携行するもの
・マスク
・消毒液
・体温計
など。
- 安全な親戚・知人宅への立退き避難
普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
- 安全なホテル・旅館への立退き避難
通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しておきましょう。
- 屋内安全確保
※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない(入っている…)
- ② 浸水深より居室は高い
- ③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分(十分じゃないと…)

浸水継続時間 (主な河川)

津幡川・河北瀧・大野川・宇ノ気川・森下川の浸水継続時間を表示したものです。浸水継続時間が長い地域では、ライフラインの途絶等により避難生活が困難となる恐れがありますので、立ち退き避難が必要かどうかの判断に有用な情報となります。

浸水継続時間とは？
浸水深が50cmを超えてから50cmを下回るまでの時間です。

凡例・記号
浸水継続時間(浸水深0.5m以上)
～12時間
12時間～24時間(1日間)
24時間～72時間(3日間)
72時間～168時間(1週間)
168時間～336時間(2週間)
336時間(2週間)以上

地図情報
行政界
予測の対象となる河川区間

災害関連情報の入手方法

津幡町災害対策本部

広報車 防災行政無線 テレビ・ラジオ ケーブルテレビ FMかほく(78.7MHz) インターネット 町防災メール 町公式 SNS 災害行政 FAX (区長宛)

津幡町民のみなさん

情報の入手先

地上デジタル放送(dボタン) ※NHKの場合
気象情報・雨量情報・水位情報のほか、避難情報等を確認できます。

Yahoo! 防災速報
ヤフー株式会社提供の地震速報やアラート、豪雨予想などの防災に関する速報を、スマートフォンやタブレット端末で利用できるアプリ版で受け取るサービスです。

防災行政無線
放送内容は、電話で確認できます。

広報車
緊急時は、広報車で町内を巡回放送します。

町公式 SNS (Facebook 等)
LINE で友だち登録していただく町の緊急情報が通知されます。

津幡町メール配信サービス
防災情報や気象情報などをメールでお知らせします。

チャンネルつばた
災害情報や避難情報を文字放送にてお知らせします。

ラジオ
災害時には、役場からFMかほく(78.7MHz)を通して、割込み放送をお送りします。

災害行政 FAX (区長宛)
災害時に避難所情報等を区長へお知らせします。

インターネット
津幡町ホームページよりハザードマップや避難情報を確認できます。

大雨時の取るべき行動

◆大雨時の防災情報と行動の目安

状況	住民のみなさんが取るべき行動	避難情報等	河川水位の情報(警戒レベル相当情報)
5 災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保!	緊急安全確保	5 相当 氾濫発生情報
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難! ~~~~~			
4 災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4 相当 氾濫危険情報
3 災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	3 相当 氾濫警戒情報 洪水警戒
2 気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2 相当 氾濫注意情報
1 今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1 相当

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるわけではありません。状況が急変することもあります。

## 避難の心得

- ① 避難する前に  
避難する前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とし、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。
- ② 避難の呼びかけに注意を  
町や消防団から避難の呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。
- ③ お年寄りなどの避難に協力を  
お年寄りや子ども、病気の方、体の不自由な方などは、早めの避難が必要です。避難に支援が必要な方に協力しましょう。
- ④ 集団での行動を  
場所によっては、洪水による水の流れが早い危険な箇所もあるので、集団での行動を心がけましょう。
- ⑤ 車での避難は注意  
浸水深が30cm以上で走行が困難になることが一般的です。事故や緊急車両の妨げにもなりますので、特別な場合を除いては徒歩で避難しましょう。
- ⑥ 足元に注意  
大雨により、マンホールの蓋が外れることがあります。マンホールや側溝に足を踏み外す危険があるので、棒などを杖代わりにして足元に注意しながら避難しましょう。
- ⑦ 正確な情報収集を  
ラジオやテレビなどで最新の気象情報、避難情報入手し、早めの行動を心がけましょう。
- ⑧ 地下施設への浸水にも注意  
半地下駐車場の浸水被害も増えています。日頃から排水設備(ポンプ)の点検や、土のう、止水板を準備しておきましょう。

## 水害に備える

□ハザードマップ(この地図) □現金 □筆記用具 □口金・保険証

□スマホ・携帯電話 □ハンカチ・タオルなど □懐中電灯 □下着類・衣類 □携帯ラジオ □レインウエアー □予備電池・バッテリー □ひざ掛けなど

□飲料水 □非常食(保存食) □消火器 □おしぼり □箸・フォークなど □ティッシュ類 □生理用品 □おむつ類

□口角類 □大小ビニール袋 □歯磨きセット □マスク □体温計 □おむつ類 □手指消毒液

◆被害を抑えるための自衛策

家のまわりを点検・整備  
家の前の排水溝が詰まっていないかの確認や風で吹き飛ばされる物の撤去等が必要です。

家庭でできる簡易水防  
浸水深が浅いときは、家庭にあるものを使って水の侵入を減少させることができます。

大きめのごみ袋やポリタンク等に水を入れて、水の侵入口となるところに並べます。

長めの板と土嚢で臨時的止水板を作ります。

◆地域での助け合い活動  
災害に立ち向かうには、行政の対応だけでは限界があります。災害から身を守るためには、住民ひとりひとりが災害に備える【自助】、また地域における自主防災組織などによる【共助】が必要不可欠です。

自助 共助

## 国・県の提供する情報

石川県防災ポータル  
県内の災害情報(自然災害・地震など)の情報を提供しています。

石川県河川総合情報システムホームページ  
県内の雨量、国及び県管理河川の水位情報を提供しています。

川の防災情報(国土交通省)  
河川の水位情報(水位計、監視カメラ)などの情報を提供しています。

石川県土砂災害情報システムホームページ  
県内の土砂災害危険度などの土砂災害情報を提供しています。

町は、様々な情報をもとに避難情報を発令する判断を行うので、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけではありません。**自らの命は自ら守る意識を持って、防災気象情報も参考にしながら適切な避難行動をとってください。**

地域で行っている避難訓練に積極的に参加して、水害に備えましょう